

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-547054(P2008-547054A)

【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518170(P2008-518170)

【国際特許分類】

G 0 2 B	26/10	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
G 0 9 G	3/02	(2006.01)
G 0 9 G	3/20	(2006.01)
H 0 4 N	5/74	(2006.01)

【F I】

G 0 2 B	26/10	1 0 4 Z
G 0 3 B	21/00	Z
G 0 9 G	3/02	A
G 0 9 G	3/20	6 8 0 C
G 0 9 G	3/20	6 4 2 P
G 0 2 B	26/10	B
G 0 2 B	26/10	C
H 0 4 N	5/74	H

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投影面に投影された画像の歪みを補正する装置であって、

レーザービームを放射するレーザーと、

スキャナーであって、該スキャナーは、該投影面にスキャンラインを形成するために第1のスキャン方向に沿って該レーザービームを掃引する第1のスキャンミラーと、該投影面に複数のスキャンラインのラスターパターンを形成するために該第1のスキャン方向にほぼ直交する第2のスキャン方向に沿って該スキャンラインを掃引する、第2のスキャンミラーとを含み、該複数のスキャンラインは、該レーザービームが移動した、該第2のスキャンミラーと該投影面との間のさまざまな距離に起因して、該第1のスキャン方向に沿ってさまざまな長さを有し、各スキャンラインは、該第1のスキャン方向に沿って多数のピクセルを有する、スキャナーと、

振幅を有する駆動信号を用いて該第1のスキャンミラーを駆動する、駆動回路と、

各スキャンラインに対する該駆動信号の該振幅を決定する、フィードバック回路と、

該画像を生成するために、選択されたピクセルを、該レーザービームによって、照明して、視認できるようにさせ、かつ、同一の長さで該画像の該複数のスキャンラインを生成するために、各スキャンラインに対する該駆動信号の該振幅を調整することによって、画像の歪みを補正する、コントローラと

を備えている、装置。

【請求項 2】

異なる波長のそれぞれのレーザービームを放射する追加のレーザーと、前記第1のスキャンミラーに向けられた合成ビームに、該レーザービームの全てを同一直線上に配列する光学アセンブリとをさらに含む、請求項1に記載の装置。

【請求項 3】

前記駆動回路は、第1のスキャン角を超えて、対向する円周方向に前記第1のスキャンミラーを振動するように動作可能であり、前記コントローラは、前記駆動信号の前記振幅が調整される際に、該第1のスキャン角を調整するように動作可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項 4】

前記コントローラは、マイクロプロセッサと、前記駆動信号の前記振幅の値が格納されるルックアップテーブルとを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項 5】

前記画像の歪みを除去するために、前記複数のスキャンラインの前記長さを手動で調整する前記マイクロプロセッサとの、ユーザ入力インターフェースをさらに含む、請求項4に記載の装置。

【請求項 6】

前記投影面は、平らなスクリーンである、請求項1に記載の装置。